



西良弘司会長エレクトの司会で、当日参加された方々から報告がありました。



西村会長エレクト      笹生副幹事      小島幹事



原田孝一会員      藤川孝幸会員      山崎隆夫会員



齊藤達夫会員      小島正伸会員      和田吉二会員



建部 覚会員      中村昭夫会員

∞∞∞出席者の報告は次の通り。∞∞∞

◆会長部門      西村弘司会員

会長部門の分科会は、相澤ガバナー、渡辺ガバナー・エレクトのお二人がリーダーを務められました。初めに渡辺エレクトより、次年度の地区重点目標についてお話がありました。重点目標は、会員増強・公共イメージと認知度の向上・寄付金の獲得の三つです。特に会員増強については、持ち時間の3分の2程の時間を使い丁寧に説明されました。相澤ガバナーは、公共イメージと認知度の向上についてエンド・ポリオ・ナウ・キャンペーンの実例およびアンケートによる効果測定の結果を説明されました。休憩を挟み、各グループに分かれ会員増強・公共イメージと認知度の向上についてテーマ別にディスカッションを行いました。

私のグループにおいては、各地域のイベントを利用しながら、公共イメージと認知度の向上を図り同時に会員を増やす。ということで纏りました。会長部門においては、PETSと同様の内容でした。

幹事部門      笹生 誠会員

1. 幹事の役割と責務について…リーダー鈴木康仁(横須賀)

- \*人事・予算・全体窓口は会長・幹事が知ること。
- \*理事役員会は議事録作成する。
- \*事務局に頼りすぎは駄目です。
- \*例会の記録(週報)出席報告は事務局任せにしない。
- \*会員半期報告は7月1日と1月1日にRIと地区への提出が義務づけられた報告書を作成しRIへ分担金を支払う。
- ※ 会員増強 10%は方針です・・・退会者にも気配りし再入会すすめる。

2. 会員アクセスについて…リーダー田島 透

- \*地区とのアクセス月間の出席報告を(ホームページ)使用してください。毎月 15 日まで・・・事務局任せにしないでください。アクセクの仕方プロジェクトにて説明される。

3. 討論会

- 1) 会長と幹事の役割分担について
- 2) 幹事と事務局との関係について
- 3) 情報伝達について

- 幹事は、クラブ会長とどのように協力しているか。
- 例会はどのように計画されているか。
- クラブのウェブサイトや会報に関する幹事の役割は何か。(事務局をたよるな)
- 出席の記録をどのようにつけているか。また、出席状況から、会員がクラブの例会に満足しているかが分かるか。
- クラブの記録文書、通信、議事録は、どのように保管しているか。

◆会長エレクト部門      小島條太郎会員

リーダーは壽永PAG(厚木RC)でした。  
 ★バッジについて—今、皆さんの左胸には、ロータリーバッジが付いています。1993~1994年、ボブ・バースRI会長は、「ロータリーのバッジを付けているあなたは、次のように発信しています。『あなたは私を信頼できますよ。私は頼りになります。私は信用に値します。私は、受けるよりも多くを与えます。私はいつでもお手伝いします』という事、をです。先輩ロータリアンが血の鯨むような努力を重ね、その結果得られた賞賛に値するロータリーの信用です。信用を積み重ねるのは時間が必要ですが、失うのは一瞬です」その重責を自覚しなければなりません。  
 ★ロータリーの目的—昨年まで「ロータリーの綱領」

と言われましたが、今は「目的」とされました。英語の直訳です。ロータリアンは、「ロータリーの目的」を基本とし、「四つのテスト」を行動規範とし、奉仕活動の実践から、進化します。進化の過程として、公式標語①「超我の奉仕」②「最も奉仕する者、最も報いられる」があります。

★例会は人生の道場一入りて学び、出でて奉仕せよー「Enter to learn, Go forth to Serve」…39代RI会長(1947-8) S・ケンドリ1ンダガーナー、USA ジャクソンビルRC、元ブリグムヤング大学の標語。ロータリーの例会は学ぶ処で、奉仕は各人が職業に於いて奉仕する(職業倫理の確立を行う)事を確認するものです。「ロータリー」の精神は、親睦と奉仕の調和の中に宿る」と言われています。クラブの例会等に出席し、事業上の発想の交換を通じて、お互いに切磋琢磨して、奉仕の理念を研鑽し、自己改善を図る。例会では、世の為、人の為に尽くす心、すなわち奉仕の心を作る。クラブ外では、奉仕の心を適用して、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕、をする。

★優れた会長とは一

入念な準備を整え、メンバーの声を聴く耳を持ち、経験や知識を分かち合い、人を励まし、活躍を称え、力強いクラブ構築のため、新しいリーダーを育成する。会長は一人、孤独に耐え、ロータリーの道を知り、道を示し、その道を行く人。

★会員の質と量(会員増強)

ロータリーの発展は、質の向上と数の増加が車の両輪の如く必要である。それは、ロータリーの理念の研鑽と奉仕でもある。質とは?定款上の会員条件では、「善良なる成人で、職業上良い世評を受けている者」。

★ロータリーで変えてはならないものーロータリーの哲学、すなわち「奉仕の理念」。

★クラブ奉仕とは

例会出席にはじまるクラブ奉仕とは、クラブ全員がすべきことであり、ロータリーライフの基礎となる。よってロータリーのロータリーたる所以は、クラブ奉仕にある。(参考:「源流の会」PDF)

◆ 研修部門 原田孝一会員

冒頭、リーダーの森洋パストガバナーより、RIが現在行おうとしている長期計画並びに戦略計画の概略について詳細な説明があり、その後3人のサブリーダーから、その戦略計画の中の3つの優先項目について、夫々説明がなされた。3つの優先項目とは、1、「クラブのサポートと強化」2、「人道的奉仕の重点化と増加」3、「公共イメージと認知度の向上」である。その後参加者を3つのグループに分け、優先項目について、グループミーティングが行われた。私は3番目の「公共イメージと認知度の向上」のグループに配属されたが、参加者のほぼ全員が各クラブにおいて会長経験者であ

るということもあり、内容のある意見交換がなされたと思う。

◆R 財団部門 藤川孝幸会員

第1部①R 財団の使命と目的②財団資金推進とポリオ撲滅③補助金を使った活動計画の意味〜グループディスカッション〜。

第2部①補助金はどのように使われるか?②3つの奨学金〜グループディスカッション〜

※具体的な目標額 ○財団寄付1人200ドル以上○ポリオ寄付1人40ドル以上 ○ベネファクター1クラブ1人以上(会員50名以上は2名以上)

※2014-15年度の地区補助金の配分方針)

DDF(地区補助金)総額??約214,600ドル[内訳]グローバル補助金107,300ドル 資金総額(財団からの同額資金も含め)214,600ドル 内訳明細(奨学金プロジェクト68,000ドル、職業研修VTT30,130ドル、地区直轄プロジェクト30,000ドル、合同奉仕プロジェクト100,000ドル) 繰越金より、DDF 寄贈として平和センター25,000ドル、ポリオ・プラス20,000ドル?

新地区補助金107,300ドル 内訳明細(海外留学の修士課程対象の奨学金プログラム27,000ドル、地区直轄プロジェクト6,000ドル、クラブ奉仕プロジェクト、合同奉仕プロジェクト72,000ドル、臨時費2,300ドル)

※〈ロータリーカード普及の推進〉買い物金額の0.3%が寄付される 法人カードは1法人20枚まで発行可能。財団への還元率は0.5%等々、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

◆職業奉仕部門 和田吉二会員

職業奉仕はロータリーの根幹をなすものだが、その概念は難しい。今年度の活動報告(週報)では、63クラブの内28クラブ(活動なしを含む・・・44.4%)が未提出で、実践活動の難しさが推測できる。

次年度方針は「分かり易い職業奉仕を目指したい」である。職業奉仕は個人奉仕であるが、ロータリーの歴史に基づいて学ぶべきである。議論のための議論に埋没しないようにするべきだが、英文翻訳の難しさもある。だから各資料が難しいのかもしれない。棚沢語(弁)で翻訳したら分かり易くなるだろうか…?

◆国際奉仕部門に参加して 山崎隆夫会員

① ロータリークラブは世界200ヶ国に120万人の会員・仲間が活躍しています。是非世界に目を向けて多数の友達を作りロータリー生活を楽しみましょう。

② 青少年交換学生、米山奨学生を援助するのも、国際奉仕活動ですが、これらの友達と末永くお付き合いを続け多様な文化を理解しましょう。

③ 国際奉仕には予算が苦しい、海外との接点が無い、リーダーシップを取る人が少ない。国際奉仕は二の次

